

公開情報

調査者	山川 諒太
情報ソースの刊行日	2020年5月4日
情報ソースの調査日	—
タイトル	「新しい生活様式」の実践例
情報ソース	厚生労働省
文献 (URL 含む)	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を日常生活で取り入れるための具体例を提示. ・一人一人の感染対策としては①身体的距離の確保, ②マスクの着用, ③手洗い. ・地域の感染状況に注意し, 感染が流行している地域への移動や同地域からの移動は控える. ・誰とどこで会ったかをメモする. ・「3密 (密集, 密閉, 密接)」を避ける. ・こまめに換気する. ・毎朝体温をチェックし, 体調不良時は自宅で療養する. ・大人数での会食は避ける. ・歌や応援は十分な距離を取るかオンライン. ・公共施設や食事中の会話は控えめに. ・テレワークやローテーション勤務を検討. ・通勤は時差通勤で ・会議や名刺交換はオンラインで行う.
注目ポイント 考察	<p>新型コロナウイルスが飛沫感染, 接触感染で感染するウイルスであり, 症状が明らかになる前から感染を広げるウイルスであることから, 感染予防対策はまず個人個人で意識することが推奨されている. 次に, 企業などもいわゆる 3 密を避けてクラスター感染を予防することが推奨され, オンラインでも可能な業務はオンラインへの移行を推奨している. 自分の身体に興味関心を持って自己管理することも求められるこの「新しい生活様式」は, ヘルスケア産業や一次予防の考え方の普及発展につながる可能性もあるのではないかと感じた.</p>